



県西地区

小田原 小田原総合ビジネス 小田原城北工業/同 (定)
西湘 山北 吉田島総合 足柄 大井



平成25年度第51回高等学校PTA連合会県西地区大会



日 時	平成25年10月12日 (木) 13時00分～16時20分
会 場	南足柄市文化会館
参加者数	251名
研修テーマ	ふれあいトライアングル ～「おあしす」は一杯の水からはじまる～ 「子どもと共に考えるキャリア」
	<p>アトラクション フォルクローレ楽団「パチャママ」</p> <p>1 開会の言葉 小田原高等学校PTA会長 笹井健次</p> <p>2 県西地区PTA連絡協議会会長挨拶 足柄高等学校PTA会長 津坂紀男</p> <p>3 主催者挨拶 神奈川県立高等学校PTA連合会副会長 小野寺善平</p> <p>4 来賓挨拶 県西地区校長会会長 山北高等学校長 山崎紀彦 (財)神奈川県立高等学校安全振興会理事長 相馬孝雄</p> <p>5 研究協議 事例発表 小田原高等学校PTA テーマ ふれあいトライアングル ～「おあしす」は一杯の水からはじまる～ 助言 小田原総合ビジネス高等学校長 大嶽真康</p> <p>6 講演 演題 「子どもと共に考えるキャリア」 講師 リアイズコンサルティング代表・ライセンスアカデミー講師 海老根 修</p> <p>7 諸連絡</p> <p>8 閉会の言葉 大井高等学校PTA副会長 砂山優子</p>

アトラクション

フォルクローレ楽団「パチャママ」

足柄高校の保護者が代表を務めるフォルクローレ（南米アンデス地方の民族音楽）楽団「パチャママ」が大会のオープニングアトラクションで演奏を披露してくれました。「コーヒールンバ」「コンドルは飛んで行く」など4曲を軽妙な解説を交えて演奏していただき、会場はしばしラテンの空気につつまれました。



研究協議 事例発表

小田原高等学校PTA

ふれあいトライアングル

～「おあしす」は一杯の水からはじまる～
小田原高等学校PTAの事例発表は、球技大会中の給水サポート事業「おあしす」への取り組みを通してPTAがいくつもの試練を乗り越え、創意工夫を重ねながら成長していく過程をレポートしたものです。



生徒会から熱い要望があった球技大会中の給水サポートをPTAの新規事業にしよう、と考えたのですが、そこには様々な試練がありました。

- ・衛生面は大丈夫なのか？
- ・ペットボトルを配るなど、もっと合理的にできるのではないか？
- ・そもそもいったい誰がやるのか？

などさまざま試練を乗り越え、「子ども達とのふれあいをメインにする。」「委員会を越えた連合チーム おあしす隊 を結成する。」などの確認をしていきました。



さらに、おあしす隊のサポートスタッフは初対面の方が多く、自分の名前以外にも子どもの名前、クラス、部活動などを記入した手書きの名札を付けて、隊員同士、また生徒にも会話のきっかけが生まれるようにしたり、給水のジャグは隊員側に向け、生徒が注ぐのではなく、隊員が入れることで、手から手へ、などの工夫をして、「保護者と保護者」「保護者と生徒」「保護者と先生」とふれあいの輪が広がり、「ふれあいトライアングル」が形成されていきました。



おあしすの成果はいろいろな点に及びました。

- ・成果その1、PTAの委員会をまたいだ交わりが生まれました。
- ・成果その2、サポートスタッフが増えました。(サポートスタッフに前年度参加した方のリピーター率はなんと100%)
- ・成果その3、親子の会話がふえました。

今後は各役員の協力体制を確立し、PTA活動の楽しさを伝え続け、先生方ともっとふれあいたいという未来予想図で発表をしめくくりました。



助言

小田原総合ビジネス高等学校長 大嶽真康先生

小田原高等学校の事例発表について大嶽先生からご助言をいただきました。先生は、PTAで新しい事業を起こす難しさと、検討の段階でともすると当初の目的からずれてしまうこともあるが、小田原高等学校は、子ども達とのふれあいという軸がぶれなかったことを評価され、今後はトライアングルの「保護者と先生方」の部分を発展させ、できればそれに「地域」という要素も盛り込んでみてはどうか、というご助言をされました。



講演

演題「子どもと共に考えるキャリア」

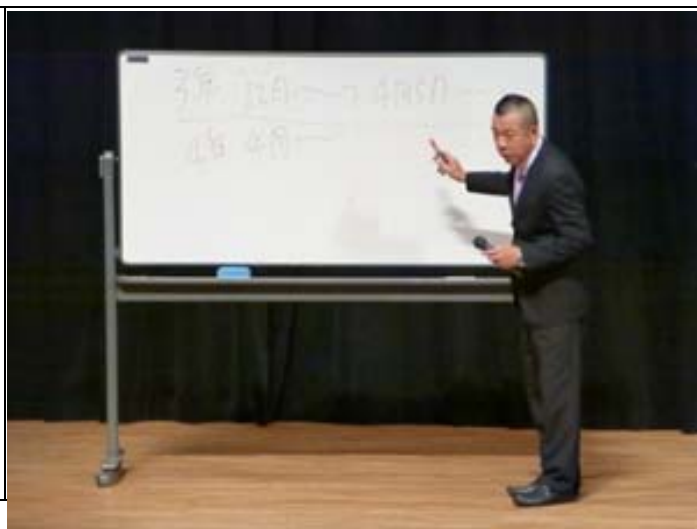
講師 リアライズコンサルティング代表・ライセンスアカデミー講師 海老根 修 先生

講演は、25年にわたり高校生の進学に携わり、現在も全国を飛び回って指導や講演を続けていらっしゃる先生が、自らの子育てや豊富な経験から、子どものキャリアを考える上での実践例をユーモアを交えて熱く語っていただきました。



前半は、子どもの将来を考えた上級学校の選び方や、就職活動の実践方法を、高卒50%、大卒30%という高い離職率の分析を通してご説明いただき、ご自身の体験などを交えての保護者や子供が陥りやすい点についてのお話に、会場の皆さんも「あるある」とうなずいていました。

・子どもを友人と比べない ・「自分の好きな事をしろ」は禁句 ・子どもの興味を本当に知っているのは親だけなど、目からうろこの話を伺いました。



後半は子どもにキャリア意識を考えさせるきっかけづくり、子どもとの接し方の極意「丁寧感微」の法則などのお話や、10年後の自分を考えて、落書き程度で良いので書き出してみることのすすめなどのお話をうかがい、さっそく家に帰って実践してみようという気になりました。

講演後、花束の贈呈があり、大会は終了しましたが、PTA活動のヒントや子どもとの接し方など、明日からすぐに実行できそうな内容で、有意義な大会になりました。

